

# 令和4年度 各務原市立鵜沼第三小学校 経営構想

各務原市小・中学校教育指導の基本理念  
誇り・やさしさ・活力のある児童生徒 ～ 一人一人が学ぶ喜びを実感 ～

今日の課題	めざす学校像	学校課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策下での教育活動</li> <li>・情報化(児童用端末の導入)、グローバル化の下での発信力の育成</li> <li>・成人年齢の引下げによる価値観の多様化</li> <li>・働き方改革と質の高い教育の両立</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全のさらなる強化</li> <li>・生きる力と各教育活動の関連の明確化</li> <li>・学校生活の基盤となる「挨拶」「掃除」の向上</li> </ul>

**【学校の教育目標】 美しい心で、力いっぱいやりぬく子**  
 自ら考え、表現する子 自分や仲間を大切にする子 心も体もじょうぶで、たくましい子

- ・美しい心 … 自分の夢や目標、価値のあることにひたむきに頑張ろうとする心。人の思いを分かろうとする心。
- ・力いっぱいやりぬく … 今、自分に何ができるかを考え行動すること。

**指導の合い言葉 いつか大人になる子どもたち**  
 ～人生の主体者として「生きる力」をプレゼント～

○美しい心で頑張る子を、全力で応援。頑張ろうとする仲間の足を引っ張る言葉や行動には、職員全員で改善を求める。困ったことが起きたら、相談しやすい職員に、ぜひ話を。その日から解決に向かって動き出す。  
 ○生きる力…自分事として捉える力、自分で決める力、じっくり考える力、根拠を明らかにして発信する力、仲間と練り合う力、信じて取り組み続ける力 等

**《学校経営の重点》 “職員一人一人のよさ” と “組織体制” を生かした指導**

学年(部)によるきめ細かな指導	指導部会提案に基づく共通行動の徹底
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標の具現を核とした心の居場所のある学級づくり (いじめを許さない支持的風土の醸成と質の高い集団の育成)</li> <li>・豊かな心を育てる道徳の授業 (生命尊重と思いやりの心の重視)</li> <li>・教科担任制と授業改善による「生きる力」の素地を培う学習活動 (複数職員での一人一人の学力定着の確かな見届け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全と安心につながる「日常の危機管理に基づく指導」</li> <li>・自治の基礎を育む「児童会・委員会活動」、仲間を広げる「なかよし活動」</li> <li>・コミュニティスクールを生かした「挨拶」「会釈」の向上</li> <li>・ボランティア手帳等を活用した「自己存在感」の醸成</li> <li>・「学習規律」「掃除」「給食」の取組の向上</li> <li>・共によりよく生きる社会の実現に資する提案・審議</li> </ul>

**【1年間の学校生活における児童の育ちのイメージ】**  
 自信と感謝と決意  
 学ぶ楽しさ、力を合わせることのよさ、自分の頑張りの実感  
 学校・学級への安心感

**カリキュラム・マネジメント (PDCAサイクル) を基盤として、重視する評価の視点**

- ※校内(職員会)での情報共有は、確実かつ丁寧に行われ、指導に反映できているか。
- ※可能な限り最大限の教科担任制を導入したことは、児童の実感として成果を残せているか。
- ※保護者との良好な関係を築く中で、家庭と学校が一体となった指導ができているか。
- ※地域住民に適切かつ正確な情報提供を行うとともに、各種の地域団体との連携が図られているか。
- ※緑陽中学校区コミュニティー・スクールとして具体的な活動が推進されているか。